

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和4(2022)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健医療政策部生活衛生担当
----------	----------------------	-----	---------------------------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針									
法人の概要	<p>1 法人の事業概要 市内の一般家庭や公共・企業などから高齢者向けの仕事を受注し、これを生きがいや健康のために働きたいという高齢者に就業の場として提供する事業などを行います。また、川崎市葬祭場の指定管理者として管理運営業務を行います。</p> <p>2 法人の設立目的 健康で働く意欲を持つ高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会を確保し、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進並びに社会参加の推進を図り、もって高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、あわせて市民サービスの向上に寄与することを目的とします。</p> <p>3 法人のミッション 高齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業等を通じて、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行います。また、指定管理者として、川崎市が設置する葬祭場を円滑かつ適切に運営します。</p>								
本市施策における法人の役割	<p>高齢化の継続的な進展により、超高齢社会を迎える中、高齢者が培ってきた知識や経験を活かして、身近な地域の社会活動に参加することの重要性が増している状況にあります。</p> <p>シルバー人材センターは、働く意欲のある高齢者の就業機会の確保、就業を通じた生きがい・健康づくりの促進、社会参加の場の提供等を通じて、高齢者の社会活動を促進する役割を担っています。</p> <p>また、葬祭場の運営には、施設の用途・特性を踏まえた、公益性・持続性の確保が求められることから、公益財団法人として適切な運営を確保するとともに、施設の管理運営を担うことにより、高齢者を対象とした新たな就業機会の確保を通じ、市民サービスの向上が見込まれています。</p>								
法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; padding: 2px;">政策</th> <th style="width: 50%; padding: 2px;">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">政策1-4 誰もが安心して暮らせる地域のつながり・しくみをつくる</td> <td style="padding: 2px;">施策1-4-3 高齢者が生きがいを持てる地域づくり</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">政策1-6 市民の健康を守る</td> <td style="padding: 2px;">施策1-6-3 健康で快適な生活と環境の確保</td> </tr> </tbody> </table>	政策	施策	政策1-4 誰もが安心して暮らせる地域のつながり・しくみをつくる	施策1-4-3 高齢者が生きがいを持てる地域づくり	政策1-6 市民の健康を守る	施策1-6-3 健康で快適な生活と環境の確保	
政策	施策								
政策1-4 誰もが安心して暮らせる地域のつながり・しくみをつくる	施策1-4-3 高齢者が生きがいを持てる地域づくり								
政策1-6 市民の健康を守る	施策1-6-3 健康で快適な生活と環境の確保								
関連する市の分野別計画	かわさきいきいき長寿プラン【R3～5】								
現状と課題	<p>1 シルバー人材センター事業の現状 シルバー人材センター事業は、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、60歳以上の健康で働く意欲のある高齢者に地域に、密着した臨時的かつ短期的、その他の軽易な作業を家庭、企業、公共団体から受注し、会員に提供することにより、より多くの高齢者の方に働くことを通じて健康的に生きがいを持って地域に貢献してもらおうことを目的として始めました。</p> <p>その後、本格的な高齢社会を迎え、少子高齢化による生産年齢人口の減少が続く中、年金の支給開始年齢の引き上げや、企業等における定年延長など、高齢者を取り巻く環境が多様化したことで、就業能力の高い会員を確保することが困難になったことに加え、安定した労働力を提供することが求められ、適正就業の推進や新型コロナウイルス感染症による影響もあって、契約金額が減少しております。</p> <p>2 シルバー人材センター事業の課題 職員のスキルアップ等による効率的な事業推進体制を図ること、登録会員数の増加及び受注増による契約金額の増額を最優先課題としています。</p> <p>3 葬祭場運営事業の現状 かわさき北部斎苑の大規模改修工事も完了し、工事期間中制限していた火葬受入れ件数が従前の件数に戻ったため、概ね火葬需要に対応している状況です。しかしながら、南北斎苑では、空調設備をはじめ一部の設備が老朽化しているため、不具合の発生が多くなってきております。</p> <p>4 葬祭場運営事業の課題 高齢者人口の増加に伴い、今後更なる火葬需要の増加が見込まれることから、火葬受入れ件数の増加への対応や設備の不具合の解消に向けて、利用者へのサービス向上や安定的・継続的な事業運営を行うための取り組みが必要となります。</p>								
取組の方向性	<p>1 経営改善項目 限られた経営資源を効果的・効率的に活用するため、職員のスキルアップ等による効率的な事業推進体制の構築に努めるとともに、市所管課、たいJOBセンター、キャリアサポートかわさき等の関係機関と情報交換会などによる連携を図りながら、シルバー人材センターの特徴である「臨時的かつ短期的、その他の軽易な仕事」を希望する高齢者に対する就労を促進することなどを通じて、契約金額の増額を図ります。</p> <p>2 連携・活用項目 シルバー人材センター事業の認知度向上に向けた広報活動を強化します。また、会員になり得る高齢者の掘り起こしを行うとともに、他センターと比較して、契約金額の公民比率が低率であるため、川崎市などの公共団体部門を中心に就業開拓活動をしていきます。</p> <p>葬祭場運営事業については、市及びシルバー人材センター・富士建設工業共同体において、定期的な会議等を通じ緊密な連携を図るとともに、火葬需要の増加への対応に向けて、南北斎苑の連携による受入れ体制の確保や、組織運営体制の維持を図ります。</p>								

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4カ年計画の目標

川崎市シルバー人材センター「第3期基本計画(令和2年～令和6年度)」を基本とした事業活動を展開し、組織体制の整備、職員の資質向上等に努めつつ、シルバー人材センターの認知度向上及び登録会員数、就業者数の増加を図ります。
また、他都市と比較して低率となっている公共団体部門を中心に、訪問営業活動などの就業開拓に取り組むことで、契約金額の増額を図り、正味財産の適正な水準を保持してまいります。
葬祭場運営事業については、火葬件数の確保を図り、葬家や葬祭事業者等の斎苑利用者に対して、一層の利便性やサービスの向上に努めてまいります。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和4 2022年度)	実績値 (令和4 2022年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	シルバー人材センター受託事業	シルバー人材センター登録者数	6,038	6,540	6,309	人	b	C	II
		シルバー人材センターを通じて仕事に就いた高齢者の数(請負・委任事業)	1,781	1,913	1,801	人	b		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	186,055 (941,208)	179,099 (1,014,537)	200,566 (990,269)	千円	3)	
②	川崎市葬祭場管理運営事業	火葬件数の確保	12,288	12,400	13,041	件	a	A	I
		葬祭場運営会議開催数	12	12	12	回	a		
		ご意見・改善要望等への対応割合	64.0	65	80	%	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	230,770 (230,770)	236,453 (236,453)	236,402 (236,402)	千円	1)	

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和4 2022年度)	実績値 (令和4 2022年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	契約高の向上による財務状況の改善	契約金額	890,958 (110,989)	943,000	928,642 (92,092)	千円	b	C	II
		経常収支比率	101.9	97～103	101.5	%	a		
		正味財産額	259,457	230,281～ 244,525	277,730	千円	c		

3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和4 2022年度)	実績値 (令和4 2022年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	シルバー人材センター事業における業務の効率向上	職員の研修参加件数	6	6	8	件	a	A	I
		関係機関会議出席件数	18	25	27	件	a		
②	効率的・効果的な葬祭場運営に向けた法人内の連携	斎苑連絡会議開催数	12	12	12	回	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】



法人及び本市による総括

【令和3(2021)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

新型コロナウイルス感染症の影響や社会経済状況の変化など、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況である中、受注実績の確保に向け、所管である高齢者在宅サービス課と連携して、センターの活用事例集など示しながら川崎市各局に対し新規受注のためのPRを実施しました。さらに3年ぶりに開催された区民祭に参加するとともに、発注者向けパンフレットを刷新し、市関係施設等に配架するなど、積極的な広報を行いました。会員の確保・育成については、会員募集パンフレットの刷新、家族・友人紹介制度の導入、地域情報誌への広告掲載、区民祭でのPR活動等を実施しました。植木及び除草作業に就業する会員確保、会員及び就業を希望する一般の方向けに講習会を開催するとともに、ICTリテラシー向上のため市民及び会員を対象としたスマートフォン講習会を開催しました。労働者派遣事業では、派遣元責任者として派遣先と派遣会員との就業調整などを行うとともに、令和5年度に予定されている神奈川県シルバー人材センター連合会の業務執行体制の変更において円滑な執行管理が可能となるよう、会議等へ出席し、関係者と積極的に協議を行いました。職員の人材育成の取組として、シルバー人材センター事業及び葬祭場運営事業に従事する職員の資質向上のため、業務に関係する各種研修会に参加しました。

次に、葬祭場運営事業は指定管理者として、新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底し、葬祭場利用者に対しては、職員一同が親切・丁寧な応接を心掛けるとともに、利用者アンケートでいただいたご意見を反映させた改善を行うなど、サービスの向上に努め、快適な市民施設として御利用いただけるよう運営しております。その他、「かわさき南部斎苑」及び「かわさき北部斎苑」の各種設備についても、川崎市と連携して計画的にメンテナンス・修繕を行うとともに、職員や受託業者への研修の実施、業務マニュアルの整備等を行い、満足度の向上に努めました。

【令和4(2022)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

シルバー人材センター事業について、「業務・組織に関する取組」は、目標を達成していますが、「本市施策推進に向けた事業取組」及び「経営健全化に向けた取組」においては、目標未達成の取組が多く、受注拡大と就業実人員の増加に向けた取組には課題があります。

社会経済状況の変化や新型コロナウイルス感染症の影響等による受注減少に対応し、新規受注先の開拓や受注可能な業種の拡大等を図るため、広報・PR活動の強化・工夫その他、技能会員の確保・育成、就労機会のマッチング等の取組強化が必要と考えます。また、労働者派遣事業拡大と国庫補助金の確保の取組を継続するとともに、職員の資質向上等による、より効率的な事業運営にも期待します。

葬祭場指定管理業務については、1日あたりの火葬受入件数を制限して実施する新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の火葬が昨年度に比べ増加したものの、令和4年9月の厚生労働省の通知に基づき、本市と協議を重ね、火葬受入件数の制限を解除するなど、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の火葬を一般火葬と同様の取扱いとしたことや、1日あたりの火葬受入件数を南部斎苑で2件、北部斎苑で1件増加させ、それぞれ24件としたこと、さらに火葬需要が増加する夏期及び冬期に友引日開苑を実施したこと等により目標を達成しております。また、利用者からの意見・要望等に対しては、本市との緊密な連携により、対応策を講じるなど、葬祭場の安心・安全で円滑な運営の確保に寄与した取組について評価できます。

新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、引き続き葬祭業者と連携しながら基本的な感染症対策を徹底するなど、適切な斎苑運営に取り組むとともに、職員等に対する定期的な接遇研修を実施するなど、施設利用者の更なる満足度の向上に向け取り組んでいきたいと考えています。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課健康福祉局保健医療政策部生活衛生担当
----------	----------------------	-----	-----------------------------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和4(2022)年度)

事業名	シルバー人材センター受託事業
計画(Plan)	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・粗入会率を上げ、一般に事業の啓発を図るためには登録会員数の増加が必要です。 ・今後もより多くの会員に仕事を提供し、高齢者の生きがいを高め、就業機会の確保を図ることが必要です。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・会員募集の広報活動として、市広報掲示板など各種広報媒体への記事の掲載等を充実させ、更に効果的な広報を検証し新規入会会員を獲得します。 ・就業機会創出活動による受注拡大、会員募集活動による登録会員数の増加、会員組織の活用による事務処理の効率化を図り、就業実人員数の増加を図る体制を整えます。 ・令和6年度までの目標値については、シルバー人材センター第3期基本計画に基づき設定し、その増加数から令和7年度の目標値を設定しておりますが、変化する社会状況等を見据えたシルバー人材センターの次期計画等で見直しを図ります。
具体的な取組内容	<p>【指標1 シルバー人材センター登録者数】</p> <p>新たな取組として登録会員が家族、知人等にセンターを紹介し、会員登録を促すための「家族・友人紹介制度」を導入するとともに、センター車両に会員募集マグネットシートの貼付けや、のぼり旗の作成、区民祭等でのPR活動や、地域情報誌への広告掲載並びに関係機関へのチラシ、ポケットティッシュの設置を行う等、会員登録者数の増大に努めます。</p> <p>【指標2 シルバー人材センターを通じて仕事に就いた高齢者の数(請負・委任業務)】</p> <p>会員の年齢、居住地、希望職種などの特性を考慮した就業マッチングが重要なことから、受注促進のため、区民祭等でのPR活動及び市への啓発活動等によりセンターの認知度を向上させ、就業機会の確保に努めるとともに、新規登録会員や未就業会員に対して積極的に就業紹介を実施してまいります。また、植木剪定や除草業務など発注のニーズの多い業種について技術取得のための研修を行ってまいります。</p>

実施結果(Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>新規登録会員の拡大に伴うPR活動のため、のぼり旗や会員募集マグネットシートを作成し、事務所及び事務所車両に設置を行うとともに、会員募集チラシを刷新し、区役所及び高齢者施設等関係機関への常設を行いました。また、3年ぶりに開催された幸区民祭、宮前区民祭ではチラシ及びポケットティッシュの配布活動を行いました。</p> <p>その他、地域情報誌「タウンニュース」では広告の掲載時期の見直しを行うとともに、シニア世代の情報誌「楽笑」への会員募集広告の掲載や、市協力による市政だよりへの事業紹介の掲載、高齢者特別乗車証送付時に会員募集チラシを同封、川崎アゼリアの広報展示ブースを利用した会員募集のパネル展示、ハローワーク川崎臨時ブース及び神奈川県シルバー人材センター連合会開催の講習会における事業説明などのPR活動を実施しました。</p> <p>新たな取組として令和4年8月から実施した「家族・友人紹介制度」においては、19名の新規会員が登録されました。女性入会促進についても新たにチラシを作成し、関係各所に配架しました。</p> <p>【指標2関連】</p> <p>受注促進に関しては、幸区民祭及び宮前区民祭への参加によるPR活動や高齢者在宅サービス課の協力による市各局へのシルバー人材センター事業のPR、就業機会創出員による企業訪問等を実施しました。また、会員登録の際に使用する入会申込書について、取得する個人情報を整理するため、様式の見直しを図るとともに、就業紹介のマッチング向上に係る事項の整理を行いました。発注のニーズが多い植木及び除草作業について、神奈川県シルバー人材センター連合会主催の講習会を市内で開催し、植木・除草作業に係る新規会員の確保に努めました。</p>
----------------	--

評価 (Check)								
本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	シルバー人材センター登録者数	目標値	6,038	6,540	6,820	7,100	7,380	人
	説明 シルバー人材センターに登録した会員数	実績値		6,309				
2	シルバー人材センターを通じて仕事に就いた高齢者の数(請負・委任事業)	目標値	1,781	1,913	1,933	1,953	1,973	人
	説明 シルバー人材センターの就業実人員(請負・委任)	実績値		1,801				
指標1 に対する達成度		b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度			※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
<p>登録会員数については、広報活動等の取組により、令和3年度から271人増加したものの、目標値を下回りました。これは新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度の実績数が伸び悩んだことが影響しています。また、前年度からの増加人数については、令和3年度(令和2年度から258人の増加)を上回り、年間目標数280人との差もわずかとなっています。</p> <p>就業実人員については、PR等での就業開拓等の取組により、受注件数が増加したことで、令和3年度から20人の増加となりましたが、新規受注は小規模なものが多かったことなどが影響し、目標値を下回りました。</p>								
 本市による評価	達成状況	区分		区分選択の理由				
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C	成果指標であるシルバー人材センターの登録会員数・就業実人員ともに、目標値を達成することはできませんでしたが、両指標の実績値は目標値の90%を上回っており、高齢者の就業の場の確保等に係る施策として、一定の成果があったものと評価できるため。				
行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	186,055 (941,208)	179,099 (1,014,537)	180,856 (1,017,741)	182,637 (1,032,551)	184,443 (1,042,086)	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		200,566 (990,269)				
行政サービスコスト に対する達成度		3)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					
法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)								
<p>市補助金は、臨時雇用賃金の見直し等により令和3年度に比べ微減となりましたが、登録会員の就業に係る委任・請負業務の契約金額である市委託料は、広報活動の効果から健康福祉局や病院局等から新規受注が確保できたことにより増額となりました。</p> <p>(参考)市補助金: 53,622千円 市委託料: 146,944千円</p>								
 本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分		区分選択の理由				
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)	行政サービスコストの目標値の範囲を超えたが、これは市からの新規受注の確保等によるものであり、本市施策推進に関する指標である就業実人員確保及び経営健全化に関する指標である契約金額の増額について、一定の成果があったものと評価できるため。				
改善 (Action)								
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容					
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II	<p>指標1の登録会員数においては、社会経済が正常化に向かう中、市内の各種イベントへの参加によるPR活動の強化や、国のデジタル化整備促進事業を活用したwebによる会員登録の検討を行うとともに、家族・友人紹介制度の継続や出張説明会など広報活動に努めてまいります。</p> <p>指標2の就業実人員においては、登録会員のスキルを活かした就業マッチングを推進するため、新たな取組として会員の持つ技術や資格をPRするスキルシートのホームページ公表等を実施してまいります。</p>					

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課健康福祉局保健医療政策部生活衛生担当
----------	----------------------	-----	-----------------------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和4(2022)年度)

事業名	川崎市葬祭場管理運営事業
計画(Plan)	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口の増加に伴う火葬需要の増大への対応が求められています。 ・家族葬、一日葬の増加など葬儀形態の変化に伴う多様なニーズへの対応が求められています。 <p>※本事業は指定管理事業によるものであり、指定管理期間は、令和2年度から令和6年度の5年間となります。</p>
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期、冬期の火葬需要が増加する時期において、友引日開苑を実施することで火葬需要への対応を図ります。 ・葬祭場運営会議を定期的に開催し、情報・課題等の共有、課題等の整理・対応及び重要事項の決定を行うとともに、効率的な葬祭場運営に努めてまいります。 <p>【葬祭場運営会議における主な課題解決に係る取組事例】 新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬に関するガイドラインの策定、友引日開苑の日程、斎苑利用案内の改訂、予約システムの改修、斎苑工事に伴う臨時休苑等の対応 ・南北両斎苑の事務所窓口及び苑内数カ所にアンケート回収箱の増設や多様な方法により、利用者から大小様々なご意見・改善要望等をいただくよう努め、これに対応することでサービスの向上を図ります。 ※指定管理者の更新等によって、R7年度以降、事業別の行政サービスコスト等の目標変更の必要が生じる場合があります。</p>
具体的な取組内容	<p>【指標1 火葬件数の確保】 友引日開苑については、夏期は8月及び9月の友引日のうち各月1日、各斎苑で開苑します。冬期は12月から2月の友引日のうち各月2日、各斎苑で開苑します。また、南部斎苑では、12月から1日あたりの火葬件数の上限を、22件から24件に引き上げ、増加する火葬需要に対応します。</p> <p>【指標2 葬祭場運営会議開催数】 葬祭場運営会議については、増加する火葬需要への対応、友引日開苑の日程、新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬に関するガイドラインの改訂、利用者の意見・要望等に対する対応、北部斎苑駐車場の運営体制の見直しなどについて協議します。</p> <p>【指標3 ご意見・改善要望等への対応割合】 葬祭場に備え付けているアンケート用紙に加え、パソコンやスマホからもアンケートに回答できるよう市と調整を図り、多くの利用者からご意見・改善要望等をいただけるようにします。寄せられたご意見・改善要望等については、指定管理者で対応できるものは速やかに対応し、対応割合の向上に努めます。</p>

実施結果(Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 ・令和4年度の火葬件数は、13,041件(南部斎苑6,144件、北部斎苑6,897件)で、目標値を上回りました。前年度の件数と比較すると、南部斎苑は前年件数5,695件から449件の増加、北部斎苑は前年件数6,593件から304件の増加となっています。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方の火葬については火葬受入件数を制限して実施しておりましたが、9月に発出された厚生労働省の新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の火葬の取扱いに関する通知に基づき、市と協議を重ね、令和4年12月に火葬受入件数の制限を解除し、冬期に増加する火葬需要に対応することができました。なお、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方の火葬は、339件(南部斎苑191件、北部斎苑148件、令和3年度は南部斎苑130件、北部斎苑99件)でした。</p> <p>・また、友引日開苑の実施のほか、1日あたりの火葬件数の上限を南部斎苑は12月から22件を24件に、北部斎苑は1月から23件を24件に引き上げたことにより昨年度に比べ火葬件数を増加させることができました。</p> <p>【指標2関連】 毎月1回市との葬祭場運営会議を開催、斎苑の管理運営に関する諸課題等について協議し、市と情報を共有しながら様々な課題の解決に努めました。主な協議内容は、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方への対応の見直し、火葬件数増加に向けた計画、友引日開苑の日程、北部斎苑駐車場の運営体制の見直し、利用者アンケートについての様式の変更とWeb方式の導入、北部斎苑周辺の樹木管理等の改善を行うこと、などでした。</p> <p>【指標3関連】 葬祭場に備え付けのアンケート用紙に加え、パソコンやスマートフォンからもアンケートに回答できるようになりました。令和4年度にいただいたご意見・改善要望等の件数は110件となっており、そのうち指定管理者で対応可能なものが51件となっています。指定管理者で対応が可能なものについては、速やかに対応した結果、対応できた割合は80%となっています。内訳は、対応したものが41件、要望に沿った対応ができなかったものが5件、検討中が5件となっています。</p>
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	火葬件数の確保	目標値	12,288	12,400	12,500	12,600	12,700	件
	説明 南北両斎苑で実施する火葬件数 ※R4年度の個別設定値:11,673(現状値の95%)	実績値		13,041				
2	葬祭場運営会議開催数	目標値	12	12	12	12	12	回
	説明 川崎市と共同体とで開催する葬祭場運営会議の開催数 ※R4～7年度の個別設定値:11(現状値の95%)	実績値		12				
3	ご意見・改善要望等への対応割合	目標値	64	65	70	75	80	%
	説明 葬祭場運営に対するご意見・改善要望等のうち、指定管理者として年度内に対応ができた件数の割合	実績値		80				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	
指標3 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の火葬については、1日あたりの火葬受入件数を制限して実施していましたが、令和4年9月の厚生労働省の通知に基づき、市と協議を重ね、火葬受入件数の制限を解除するなど、適切に対応したことで、冬期の火葬需要の増加に対応することができました。また、友引日開苑の実施に加え、1日あたりの火葬受入件数を令和4年12月から南部斎苑において2件、令和5年1月から北部斎苑において1件引き上げ、それぞれ1日あたりの火葬件数を24件とすることにより目標値を上回る件数を達成することができました。

・葬祭場運営会議については、計画どおり毎月開催し、新型コロナウイルス感染症対策、北部斎苑の裏山枯木倒壊への対応等の様々な課題に対応することができました。

・利用者のご意見・改善要望等への対応については、指定管理者で速やかに対応した結果、対応できた割合が高くなっています。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		236,453 (236,453)	247,409 (247,409)	246,916 (246,916)	246,916 (246,916)	千円
	説明 本市財政支出 (直接事業費)	実績値	230,770 (230,770)	236,402 (236,402)				
行政サービスコスト に対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					
法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)								
<p>業務委託費においては、清掃、警備委託の契約金額の増加に加え、北部斎苑に係る倒木による破損補修等により前年度から増額となりましたが、両斎苑の設備に関する消耗品や消耗備品購入の節約等コスト削減に努め、実績値を目標値の範囲内にすることができました。</p>								

本市による評価	費用対効果 〔達成状況〕と〔行政サービスコストに対する達成度〕等を踏まえ評価	区分	区分選択の理由
		(1)	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である

改善 (Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
		I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課健康福祉局保健医療政策部生活衛生担当
----------	----------------------	-----	-----------------------------------

2. 経営健全化に向けた取組①(令和4(2022)年度)

項目名	契約高の向上による財務状況の改善
計画(Plan)	
現状	公共系、企業系の大口の顧客を獲得することにより契約金額が伸びる傾向があるため、多くの登録会員を就業させるための大口契約の受注拡大を図り、財源確保に努め、経常収支比率や正味財産額を保持していく必要があります。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・就業機会創出活動、会員募集を効果的に行い、受注件数と登録会員数を増加させることで契約金額の増につなげ、経常収支比率と正味財産額について、一定の比率と額の範囲で推移させることを目指します。 ・令和6年度までの目標値については、シルバー人材センター第3期基本計画に基づき設定し、その増加金額から令和7年度の目標値を設定しておりますが、変化する社会状況等を見据えたシルバー人材センターの次期計画等で見直しを図ります。
具体的な取組内容	<p>「家族・友人紹介制度」の導入や、区民祭等でのPR活動、地域情報誌への広告掲載等により、会員登録者数の増大に努めるとともに、公共機関及び企業等に対して、就業機会の確保と拡大に向けて積極的な訪問活動等を行い、併せて、利用者のニーズに合った新規受注の確保に向けた多様な取組を次のとおり実施します。</p> <p>また、経常費用においてもシルバー人材センターの認知度向上に係る費用の適確な執行及び経費の見直しを図るなど、収支相償に伴う経常収支比率及び正味財産額の維持に努めます。</p> <p>【就業機会確保に向けた取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①職員による公共機関等への啓発活動の強化 ②就業機会創出員による民間企業、団体等への訪問活動 ③事業の普及啓発及び広報活動の充実 ④労働者派遣事業の推進

実施結果(Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>委任・請負業務の契約金額確保に向けた主な取組として、次の項目を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高齢者在宅サービス課を通じた市各局へのシルバー人材センター事業PR ②就業機会創出員による民間企業等への訪問 年間736件 ③家族・友人紹介制度の実施 新規登録会員数 19人 ④市からの新規受注の受託 高齢者在宅サービス課(高齢者特別乗車証明申請窓口案内業務)、川崎市井田病院(来院者発熱チェック、看護助手補助業務)、宮前区役所(管生分館夜間施設管理業務) ⑤幸区民祭、宮前区民祭への参加によるPR活動 ⑥地域情報誌タウンニュースへの広告掲載 年2回 <p>【指標2及び指標3関連】</p> <p>経常費用については、普及啓発活動に係る費用を管理しつつ、その他支出についても、消耗品の購入やリース機器の再リース等で費用を必要最低限に抑えるなど、収支相償に伴う経常収支比率及び正味財産額の維持に努めました。</p>
---------------	---

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	契約金額	目標値	890,958 (110,989)	943,000	955,000	967,000	979,000	千円
	説明	シルバー人材センターが受注した契約金額(委任・請負業務)(なお、目標値は請負・委任による額であり、その達成度をもって評価するものとするが、実績値に派遣※による額を別掲の補足指標として加える) ※神奈川県シルバー人材センター連合会との委任事務契約による事業		928,642 (92,092)				
2	経常収支比率	目標値	101.9	97~103	97~103	97~103	97~103	%
	説明	経常収益÷経常費用×100		101.5				
3	正味財産額	目標値	259,457	230,281~ 244,525	230,281~ 244,525	230,281~ 244,525	230,281~ 244,525	千円
	説明	指定正味財産+一般正味財産		277,730				
指標1 に対する達成度		b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上~目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上~現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		a						
指標3 に対する達成度		c						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
<p>・企業訪問活動等の取組により、指標1の契約金額については、前年度を上回ることができましたが、全体的に小規模な契約が主であること、また、新型コロナウイルス感染症や急激な円安、物価高騰などの影響による既存契約の縮小等もあったことから、結果として目標値には及びませんでした。なお、補足指標の労働者派遣については流通業に就労する会員が減少したことにより実績が昨年を下回りました。</p> <p>・指標2の経常収支比率については、国庫補助金の微減等がありましたが、契約金額が増加したことにより収益増となった一方で、連動する支払配分金等の増加により費用も増加しており、結果として目標値の範囲に収まることができましたが、指標3の正味財産額については、令和4年度経常収支差額の増加に伴い、目標値の範囲には収まりませんでした。</p> <p>(参考)国庫補助金:45,198千円</p>								



区分	区分選択の理由
達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C 成果指標である契約金額及び正味財産額は目標値を達成することはできませんでしたが、経常収支比率は目標値を達成しているほか、契約金額は昨年度より増額しており、経営健全化に取り組んでいると評価できるため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	契約金額は昨年度を上回ったものの、労働者派遣事業の実績減少もあり、依然として厳しい状況です。また、令和5年10月から導入されるインボイス制度に係る費用負担も見込まれることから、当面の措置として川崎市からの受注については令和5年4月以降、事務費率を12%に改定するとともに、新規受注確保のため、広報媒体の活用強化、ホームページの活用等PR活動の強化についても進めてまいります。


法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課健康福祉局保健医療政策部生活衛生担当
----------	----------------------	-----	-----------------------------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和4(2022)年度)

項目名	シルバー人材センター事業における業務の効率向上
計画(Plan)	
現状	事業の拡大と適正就業の推進のための事務局体制の強化には職員のスキルアップが必要不可欠です。また、関係機関との会議に出席し、常に最新の情報を確保することで、職員の業務知識の向上や効率的な事業展開に寄与できると考えます。
行動計画	より効率的な事業推進体制の強化を構築するため、内外問わず開催される関係機関の職員研修に参加し、職員のスキルアップを図ります。 また、市との連絡会議や、神奈川県シルバー人材センター連合会が主催する会議等に積極的に参加し、知り得た情報を法人で共有し、業務拡大に役立てます。 予定される職員の研修会参加内容としては、職業紹介責任者講習、労働者派遣事業責任者講習会、適正就業研修、業務システム研修などがあります。なお、参加対象職員については減少傾向にあるため、職員のスキルアップに必要な研修を厳選し、参加してまいります。
具体的な取組内容	【指標1 職員の研修参加】 例年開催される職業紹介責任者講習会、労働者派遣事業責任者講習会、適正就業研修、業務システム研修に参加をするとともに、職員のスキルアップに必要なとされる講習会、研修会についても積極的に参加してまいります。 【指標2 関係機関会議出席】 神奈川県シルバー人材センター連合会等が主催する会議や、政令指定都市会議等へ出席し、情報交換をすることで、常に最新の状況を把握してまいります。

実施結果(Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 シルバー人材センター事業に係る各種講習会に出席し、スキルアップを図りました。 【全国シルバー人材センター事業協会主催】職業紹介責任者講習会、労働者派遣事業責任者講習会、新任事務局長研修 【神奈川県シルバー人材センター連合会主催】安全就業研修会、職員研修、国庫補助金説明会 【NRI社会情報システム主催】ユーザー研修会(2回:オンライン) 【指標2関連】 シルバー人材センター事業に関する各種会議に参加し、情報交換を行いました。 【神奈川県シルバー人材センター連合会主催】事務局長会議(3回)、専門部会(3回)、安全対策検討部会(2回)、派遣事業対策会議(6回)、適正就業担当者会議(オンライン)、事故防止委員会(2回)、政令市ブロック大会 【その他】政令指定都市代表者会議(オンライン)、政令指定都市実務者会議、就業支援情報交換会、高齢者在宅サービス課連絡会議(2回)、区地域包括支援センター連絡会議(2回)、安心見守りネット情報交換会(2回)
---------------	--

評価 (Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	職員の研修参加件数	目標値	6	6	6	6	6	件
	説明 職員のスキルアップに伴う研修会参加件数 ※R4～7年度の個別設定値:5(現状値の95%)	実績値		8				
2	関係機関会議出席件数	目標値	18	25	25	25	25	件
	説明 市・関係機関との会議等の出席	実績値		27				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		a						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
<p>職員の研修参加件数については、令和4年度はコロナ禍で前年度は中止されていた研修会が再開されたこと、新規講習会への積極的な参加も行ったことで目標値を上回りました。</p> <p>会議等の出席件数においても、オンラインや会場開催へ積極的に参加したことで目標値を上回りました。</p>								
	達成状況	区分		区分選択の理由				
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A	シルバー人材センター事業関連の研修への参加、関係機関との会議を通じた情報共有等を積極的に行うことで、職員の業務知識の向上、業務の効率化に積極的に取り組んでいると評価できるため。				

改善 (Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課健康福祉局保健医療政策部生活衛生担当
----------	----------------------	-----	-----------------------------------

業務・組織に関する取組②(令和4(2022)年度)

項目名	効率的・効果的な葬祭場運営に向けた法人内の連携
-----	-------------------------

計画(Plan)

現状	高齢者人口の増加による火葬需要の増加や葬儀形態の多様化により、火葬件数増加への対応や多様化する葬祭場利用者のニーズに対して、南北両斎苑では適切に管理運営を行っています。
行動計画	斎苑連絡会議を定期開催することにより、法人内の連携を強化するとともに、内部統制を図ります。 【斎苑連絡会議における主な検討課題事例】 新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬に関するガイドラインの策定、友引日開苑の日程、斎苑利用案内の改訂、予約システムの改修、斎苑工事に伴う臨時休苑等の対応
具体的な取組内容	斎苑連絡会議は、シルバー人材センターの事務局長、斎苑管理グループリーダー、南部斎苑長、北部斎苑長で構成し、毎月1回、斎苑の管理運営上の課題について協議します。また、新型コロナウイルス感染症等の状況が変化しているため、今年度についても、増加する火葬件数への対応、友引日開苑の日程、新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬に関するガイドラインの改訂、利用者の意見・要望等に対する対応、北部斎苑駐車場の運営体制の見直しなどについて協議します。協議の結果は、市に報告します。

実施結果(Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 斎苑連絡会議は、シルバー人材センター本部役職者と南北斎苑長が出席し、毎月1回開催しています。当該会議において、南北両斎苑の課題を共有し、新型コロナウイルス感染症に係る対応、1日あたりの火葬件数の引上げ、友引日開苑の日程などについて、対策を協議し対応することで適切に葬祭場管理運営事業を実施しました。
---------------	--

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	齋苑連絡会議開催数	目標値	12	12	12	12	12	回
	説明 シルバー人材センター本部、南北齋苑による会議の開催数 ※R4～7年度の個別設定値:11(現状値の95%)	実績値		12	12			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
----------------	---	---

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

毎月会議を開催することで、南北齋苑の情報や課題等が共有でき、齋苑の管理運営に反映することができました。

本市による評価

達成状況

区分		区分選択の理由
A	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	法人本部と各齋苑長との定期的な連絡会議の開催により、苦情や要望、運営上の課題に関する認識を共有するとともに、苦情の再発防止策や要望への対応、課題解決に向けた検討を行うことで、円滑な施設運営と利用者の満足度向上に取り組んでおり、本市施策に寄与しているため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)					
	経常収益	1,232,544	1,271,863			
	経常費用(事業費)	1,171,978	1,216,237			
	経常費用(管理費)	38,133	37,352			
	うち減価償却費	4,182	4,305			
	当期経常増減額	22,433	18,273			
	経常外収益					
	経常外費用	380				
	税引前当期一般正味財産増減額	22,054	18,273			
	当期一般正味財産増減額	22,054	18,273			
(指定正味財産増減の部)						
当期指定正味財産増減額						
正味財産期末残高	259,457	277,730				
貸借対照表	総資産	519,438	491,533			
	流動資産	322,684	292,912			
	固定資産	196,754	198,621			
	総負債	259,981	213,803			
	流動負債	176,756	128,176			
	固定負債	83,225	85,627			
	正味財産	259,457	277,730			
指定正味財産						
一般正味財産	259,457	277,730				
主たる勘定科目の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
経常収益	受託事業及び葬祭場管理運営事業	1,123,501	1,165,043			
経常費用	委託費(事業費+管理費)	172,505	180,791			
総資産	特定資産	121,417	125,939			
総負債	有利子負債(借入金+社債等)	54,415	2,296			
本市の財政支出等(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金		54,525	53,622			
負担金						
委託料		131,530	146,944			
指定管理料		230,770	236,401			
貸付金(年度末残高)						
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)						
出捐金(年度末状況)		10,000	10,000			
(市出捐率)		30.6%	30.6%			
財務に関する指標		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		182.6%	228.5%			
有利子負債比率(有利子負債/正味財産)		21.0%	0.8%			
経常収支比率(経常収益/経常費用)		101.9%	101.5%			
正味財産比率(正味財産/総資産)		49.9%	56.5%			
経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用)		34.4%	34.9%			
経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益)		33.8%	34.4%			

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
令和4年度は、労働者派遣事業の実績減少や市及び国庫補助金額の漸減がありました。葬祭場運営事業収益の増額及び受託事業収益の増額により経常収益は増加となりました。経常費用は、受託事業の増加に伴う支払配分金の増額や葬祭場運営事業における外部委託費に係る人件費や物価上昇による費用増などにより、前年度から増加となりました。備品購入等の費用を抑えたことで、当期一般正味財産増減額は黒字を維持することが出来ました。受託事業においては実績は回復傾向にありますが、令和4年度で終了した市放置自転車対策業務や大手流通業の受託事業縮小による受託事業実績の減少が令和5年度実績へ影響することが見込まれています。	契約金額の確保は依然として厳しい状況ではありますが、国庫補助金の確保の取組を継続するとともに、広報・PR活動の強化及び就業開拓活動の拡大を図ることで新規受注等の確保に努めてまいります。また、国のデジタル化促進事業を活用し、会員増強、就業機会の拡大にも繋がる「会員のICTリテラシーの向上」、「デジタルツールを活用した会員・当センター間のコミュニケーションの向上」、「会員のスキルを活かした就業マッチング」などの取組を実施し、会員の利便性の向上及び業務の効率化等に努めることで令和5年度目標値955,000千円の契約金額の確保を目指してまいります。	契約金額の確保及び財務状況の悪化を防ぐため、新規受注先の開拓や受注可能な業種の拡大、広報・PR活動の強化・工夫の他、技能会員の確保・育成、就業機会のマッチング等の取組強化が必要と考えます。また、社会経済状況の変化に対応した、事業のデジタル化推進等による、会員の利便性向上、センター業務の効率化にも期待します。

(2)役員・職員の状況(令和5年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	1	8	0	2
職員	25	0	11	10	0	6

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性